

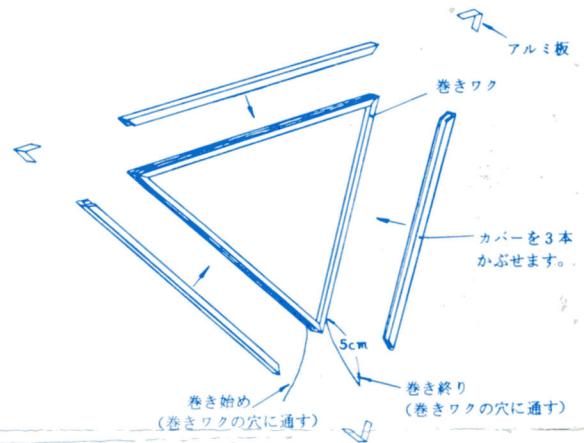
トライアングルアンテナ

Z-2 組立説明書

トライアングルアンテナZ-2は、KX-1Dカップラーと組み合わせて使えるハイコンパクトサイズの高感度中波アンテナです。
今まで聞きづらかった弱い信号もビックリするほど強力に聞こえるようになります。

- (2) 巻きワクが三角形にできたら次にこのワクに付属の線材を10回グルグルと巻きます。巻き方向はどちらでもOKですが、巻き始めと巻き終りの両端は後でKX-1Dの端子に接続しますから5cm位ずつ、ひげのように出しておいて下さい。(前記の穴から出す)

(図-2) アンテナ線の巻き方



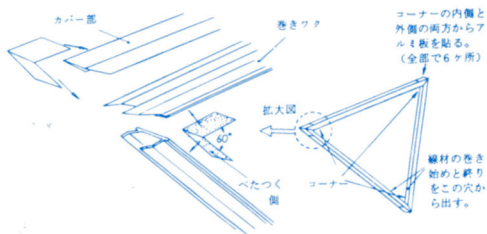
1. 付属品

プラスチックモール	3 組
線材	1
取り付け金具	1
ネジ (4×30mm)	1
蝶ネジ (4φ用)	1
コーナー用アルミ板	6
説明書	1

2. トライアングルの組み立て

- (1) 付属のプラスチックモールの巻きワクからカバー部をはずして、3本のワクを組み合わせて三角形にして3ヶ所のコーナー部(内角で60°の所)に付属の両面テープ付アルミ板を曲げて固定します。(穴の向きに注意) このアルミ板は裏側の両面テープの茶色紙をはがすと、表面がベタつきますからそのまま接着できます。

(図-1) 樹脂巻きワクの組み立て

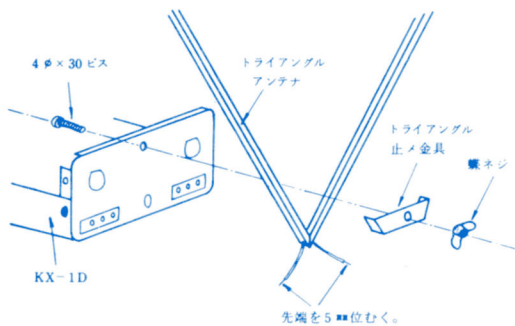


- (3) 巻きワクに線を巻き終わったら、3本の樹脂カバーをはめ込み外側のコーナーにアルミ板を貼ります。
 (4) KX-1Dの上カバーを横のネジを⊕ドライバーでゆるめて、はずします。
 (5) トライアングルに付属している4φ×30mmのビスを、KX-1Dの後面パネルの4φタップの所に内側からネジを取り付けます。ビスが後面パネルに、しっかりと付いたらトライアングルとめ金具と蝶ネジでトライアングルアンテナをしめ付けてください。(図-3)

この時に蝶ネジをしめる時、始めに付けた4φ×30mmのビスと一緒に廻ってしまう時はネジを⊕ドライバーで固定すると上手にしめられます。

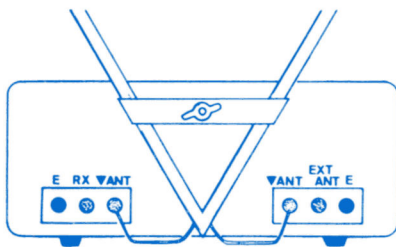
- (6) トライアングルに巻いた線の巻き終りと巻き始めの線の先端を5mm位むいて、中の銅線を出します。

(図-3) KX-1D への取り付け



- (7) トライアングルがKX-1Dに付いたら、KX-1Dの上カバーを、もとの状態にもどします。そしてトライアングルからの線をKX-1Dリヤパネルの▽ANT端子に接続します。2本の線はそれぞれこちらの端子でもOKですが、1本目の線を左の▽ANTに付けたら、もう1本の線は右の▽ANT端子に取り付けます。

(図-4) KX-1Dへの配線



これでトライアングルアンテナの組み立てが完全に終了しました。

このアンテナは中波帯専用ですから短波帯のアンテナとしては使用できません。またKX-1Dのパネルスイッチが▽ANT側に切り換えていないと動きません。

3. トライアングルの使い方

- (1) KX-1DのパネルスライドSWを▽ANTとCO

UPLER OFFの方へ切り換えます。

- (2) ラジオのスイッチを入れて中波帯の、どこか遠くの局をキャッチします。
- (3) ラジオとトライアングルの面とを直角において、KX-1Dのチューニング(TUNING 1)ツマミを廻して最高感度に合わせます。
- このほかにアンテナとラジオの角度とか距離、位置についてもいろいろ実験してみてください。

※ トライアングルアンテナ使用の際は、KX-1Dのチューニングツマミ2(TUNING 2)は関係なくなります。

また、屋外アンテナ等がトライアングル以外に、KX-1Dのアンテナ端子に付いても、パネルのスライドスイッチで切り換えてありますから全く問題ありません。

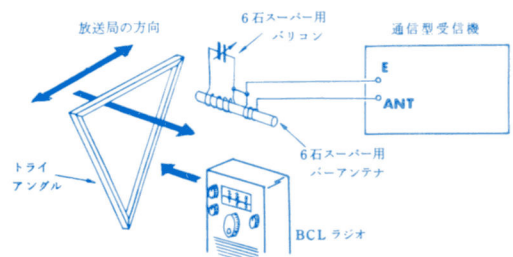
逆に屋外アンテナで聞く時もトライアングルアンテナが付いてもかまいません。

さらにトライアングルアンテナだけしか使わない方は、ラジオのアンテナ端子には何も接続しなくてもかまいません。

これは、トライアングルアンテナに集まった電波はラジオ内にあるパーアンテナに直接カップリングするためです。

したがってパーアンテナを内蔵していない通信型受信機等の時は、パーアンテナを取り付けて改造しないと使えません。

(図-5) トライアングルとラジオの設置例



ミズホ通信株式会社

東京都町田市森野2-8-6
〒194 TEL0427(23)1049

トライアングルについての御質問はミズホ通信株式会社技術部へお願い致します。